健やかで快適に安心して暮らし続けられる

CO

望ましい環境都市の姿

自然や資源を大切に、

みんなでつくる持続可能なまち・千葉市

第2章

目指す「望ましい環境都市の姿」・5つの「環境の柱」・基本目標

S環境分野における目標の具体化、 実現に向けた取り組み方針の立刻

望ましい環境都市の姿の実現

環境の柱1:地球温暖化対策を推進し、気候危機に 立ち向かう



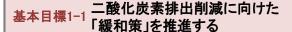












- ・家庭、事業所における省エネの促進
- ・建築物の省エネ化、ネット・ゼロ化の促進
- ・再生可能エネルギーの創出、利用推進
- ・ 次世代自動車利用に関する取組みの促進
- ・水素エネルギーの活用
- ・コンパクトなまちづくり、交通環境整備・改善
- ヒートアイランド対策の推進(緑化の推進)
- 二酸化炭素の吸収源対策の推進

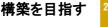
気候変動による影響への 基本目標1-2 「適応策」を推進する

- 自立分散型エネルギーの確保
- 7分野(農林水産業、水環境 水資源、自然生態系、 自然災害、健康、産業・経済活動、国民生活)に おける効果的な適応策の推進
- 気候危機に対する行動変容の促進

【環境の柱1の指標】

○ 温室効果ガス排出量

3Rの取組みを推進し、循環型社会の 環境の柱2:











基本目標2-1リデュース、リユースを推進する

- 廃棄物の排出抑制に向けたライフスタイルの転換
- ・ 廃棄物の排出抑制に向けた体制づくり等の推進
- 事業活動における廃棄物の発生抑制・再使用の促進

基本目標2-2リサイクルを推進する

- ・ 資源の循環的な利用に向けた体制づくりの推進
- ・バイオマスの利用推進・拡大

基本目標2-3 廃棄物を適正に処理する

- 環境負荷の少ない廃棄物処理の推進
- 廃棄物の不適正処理・不法投棄の未然防止
- ポイ捨ての防止、清掃活動の推進
- ・ 災害廃棄物の処理体制の構築

【環境の柱2の指標】

- 市民1人1日当たりの一般廃棄物総排出量
- 一般廃棄物最終処分量

自然と調和・共存し、緑と水辺の良好で 環境の柱3 多様な環境を次世代に引き継ぐ



生物多様性の普及啓発

• 歴史的遺産の保全継承

自然とふれあう空間づくり

• 自然とふれあう機会づくり

【環境の柱3の指標】

・ 健全な水循環の確保



緑と水辺のネットワークの形成推進

• 地域の特性を活かした都市景観づくり

基本目標3-4 自然とふれあう機会を創出する

○ 生物多様性について理解している市民の割合

緑と水辺が豊かだと感じる市民の割合

• 野生動植物の保全に向けた取組みの推進

・多様な生物の生息・生育環境の保全・再生

基本目標3-2 豊かな緑と水辺を保全・活用する

基本目標3-3 地域の自然・文化が育む景観を保全・ 創造する

地域の自然環境資源を保全・活用した良好な自然景観

• 身近な水辺空間の保全 • 創出及び活用の推進



基本目標3-1生物多様性に富んだ生態系を保全する







\$7

基本目標4-1 空気のきれいさを確保する

Ų

環境を守る

- 工場・事業場からの大気汚染物質の排出の抑制
- 自動車からの大気汚染物質の排出の抑制

基本目標4-2 川・海・池のきれいさを確保する

- ・工場・事業場からの水質汚濁物質の排出の抑制
- ・生活排水対策の推進

環境の柱4:

基本目標4-3 地下水・土壌等の安全を確保する

- ・工場・事業場からの水質汚濁物質の排出の抑制
- 地下水汚染対策の推進
- ・ 土壌汚染対策の推進
- 地盤沈下対策の推進

基本目標4-4騒音等を低減し静けさや心地よさを確保する

- ・工場・事業場からの騒音・振動・悪臭の発生の防止
- 自動車や建設作業などによる騒音などの防止

基本目標4-5化学物質による環境への影響を未然に防止する

- ・工場・事業場からの有害化学物質の排出の抑制
- 有害化学物質に関する情報の収集 提供

!【環境の柱4の指標】

○ 環境目標値(大気、水質、地下水・土壌等、騒音、 有害化学物質)の総合達成率

環境の柱5: みんなで環境の保全・創造に取り組む



























基本目標5-1

環境教育を通じて主体的に環境保全 活動に取り組む人材を育成する

- ・世代・分野を超えた協働の推進
- 体験活動を通じた主体的 対話的学びの推進
- 持続可能な社会の実現に向けた人材育成
- ICT などの積極的な活用

基本目標5-2

づくり

あらゆるステークホルダー との連携を推進する

- パートナーシップの構築
- 連携する事業の創出、取組みの拡大
- 人材の育成及び活用
- 地域間協力及び人的交流の推進

基本目標5-3

環境関連産業の育成に取り組むなど、 環境と経済の好循環を推進する

- 企業の環境配慮行動と地域経済の好循環の促進
- ・環境関連産業の育成促進
- ・ 産学官民の連携などによる技術の開発・活用の
- ・ 先進技術を活用した環境保全の取組みの促進

i【環境の柱5の指標】

- 環境に配慮した行動を自ら 実施している市民の割合
- 環境に配慮した行動を自ら 実施している事業者の割合

第1章 環境基本計画の基本的事項

■計画の役割に基づく■ 取組みの立案

- 4 計画期間 計画策定の背景 計画策定の基本的な考え方 5 計画の対象地域
 - 6 計画の構成

第3章 環境基本計画とSDGsとの関係性 SDGsの考え方

- 本計画とSDGsのゴールとの関係
- 本計画と関りが深い13のSDGs ゴール

による達成 との整合

- 3 基本目標とSDGsのゴールの関係性
- SDGsの具体化 4
- 5 横断的な施策

第4章 環境基本計画の推進について

取組み推進の ための体制構築 点検・評価に

基づく見直し

- 各ステークホルダーの役割と取組み
- 推進体制
- 3 進捗管理

資料編

- 2 前計画の進捗状況

1 市政の概況

- 3 環境基本計画策定の経緯 4 千葉市環境審議会 委員名簿
- 5 千葉市環境基本条例
- 6 用語集

別冊

3 計画の位置付け

- 1 目指す5つの「環境の柱」、基本目標の達成に 向けた指標と取組み
- 2 指標・環境目標値の一覧
- 3 各ステークホルダーの取組み